

# 北方文化博物館

## 歴史と文化を伝えて50年



北方文化博物館 館長 伊藤文吉

蒲原平野の阿賀野川河畔の小さな集落に「豪農の館」があります。かつては、越後の大地主の伊藤家の本邸でしたが、昭和二十一年遺構保存のため、財団法人北方文化博物館が創設され、これに寄付され二月十二日で設立五十周年を迎えました。伊藤家は江戸時代の中頃からこの地にありましたが、地主として

伊藤家が所有していた約一、四〇〇町歩の農地が戦後開放され、残された全財産を財団に寄付をし、昭和二十一年二月十二日「史蹟文化振興会」（三年後北方文化博物館に改称）を設立、民間初の博物館として国の認可を得て以来今年で五十年目を迎えました。

当博物館が戦後の疲弊した時代に幾多の困難を乗り越えて誕生し、今日まで皆様の温かいご支援に支えられてきました事に心より感謝申し上げます。

博物館として認可される過程には、当時アメリカの駐留軍将校ライト中尉が軍の命令により伊藤家を集合住宅にするため訪れたことに始まります。最初に訪れた時は当主が留守

しての発生は明治に入ってからで次第に農地の集積を計り、やがて所在六郡六十四ヶ町村に誇り、所有田畑一千三百七十町歩、山林一千町歩を超え、差配人七十八名、蔵所五十八ヶ所、小作人二千八百余名を数え、作徳米約三万俵、といわれ昭和初期には新潟県下第一位の地主であったといえます。

で、私がまだ高校生の時に片言の英語で対応したが要領が得られず、二回目に来訪された時、父七代文吉が英語で話をして『文化には、時代と共に変わりゆくもの、変形してゆくものもあるが絶対に変わってはならないものがある。時代を代表する美術品は千年、二千年経ても人から人へ渡って物は残るが、生活文化、心の文化、思想は残らない。』



挨拶を述べる伊藤館長

横越村の誇りでもあり県下の代表的文化・観光施設である同館は、現在でも県内外などから年間三十万人余が訪れ、昔ながらの歴史や文化にふれています。八代目となる伊藤館長より当館を振り返っての話をいただきましたので紹介いたします。

その時代の心の文化こそ大切なものである。国や県、地方自治体でなく、あなた自身が孫子の代へと血筋を通して守り抜いてほしい」と言うライト中尉の話と父の考えていた構想が同じであり、話をしていく内に留学先であったペンシルベニア大学の先輩後輩という縁もあって、年々消滅していくであろう日本の歴史文化遺産を存続させるため、共に大変な努力をしたことを思うと感慨深いものがあります。

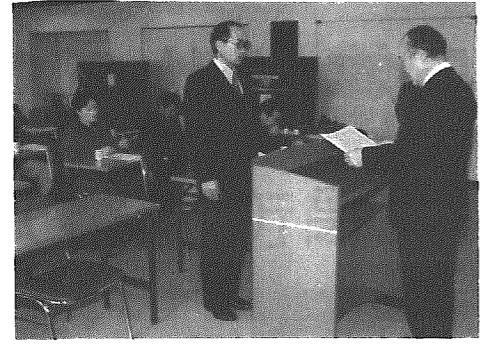
昭和六十三年博物館生みの親とも言うべきラルフ・ライト氏と初代館長の功績を称えて記念碑を建立。除幕式にも出席されたライト氏は今は故人となり、今回の記念式典にはライト夫人と令嬢が出席されました。

この度の五十周年を大きな節目として、これからも多くの皆様とともに日本の伝統的文化遺産の保護のため努力して行きたいと思っております。

### (財)北方文化博物館 50年のあゆみ (抜粋)

- 昭和21年2月 財団法人「史蹟文化振興会」として設立許可
- 昭和24年8月 スウェーデン・ストックホルムのノルデスカムジール（北方文化博物館）の名に「文化」を入れ北方文化博物館と改称
- 昭和27年4月 博物館法により北方文化博物館を新潟県に登録
- 昭和33年9月 伊藤文吉（8代）（若名吉彦）理事長・館長に就任
- 昭和33年11月 北方文化博物館研究報告第一「刈羽貝塚」発行
- 昭和56年11月 館長「文部大臣表彰」（田中龍夫文部大臣）博物館活動の振興に貢献。授賞式において皇太子殿下同妃殿下に拝謁
- 昭和63年7月 北陸自動車道全線開通で関西圏からの入館者急増
- 平成5年5月 秋篠宮紀子様来館
- 平成8年2月 50周年記念式典及び祝賀会開催

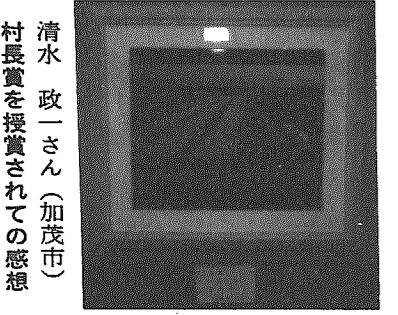
### 第6回景観再発見事業 写真コンテスト表彰式開催



二月七日に役場多目的ホールで、第六回景観再発見写真コンテスト入賞者の表彰式が行われました。

式には、受賞者の十三名と来賓には金川村議会議長、商工会等が出席。観光協会長である浅見村長からは、撮影者の鋭い観察力のもとに出来上がった作品に対する高い評価や、その緻密な活動に対しての敬意と労がねぎらわれました。

又、議長の祝辞とこの事業の後援団体のJA亀田郷みなみ、協賛団体の新潟フジカラーからの入賞者を祝福する挨拶で、表彰式を終了しました。



村長賞受賞作品「花つみ」

この作品は、昨年の四月二十九日に田植え前の忙しい中、何とか都合を付けて来た時に思わず村のあちらこちらに広がるチューリップ畑に感動し、その際に撮影した中の一枚です。

あの時の光景が忘れられないので、今年の四月も都合をつけて家族と見に来たいと思います。

清水 政一さん（加茂市）村長賞を授賞されたの感想 思いもよらない村長賞に感激しています。

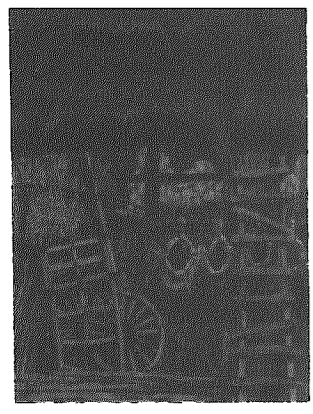
### 守れ文化財 北方文化博物館で 消防演習

一月二十三日雪降る天候の中、北方文化博物館で文化財防火デーの一環として、消防防団と同館職員による消防演習が行われました。

### 総合体育館に絵画を寄贈

昨年九月に逝去された前教育長の中川国保氏の遺志により、春江夫人から総合体育館に絵画の掲額をと百万円の寄贈がありました。

村ではこの意向にそって、協



第79回光風会展入選「光陰」

議検討を重ねた結果、日展等に入選した新津市在住秋山光先生「光陰」を購入し、総合体育館へ掲額させて頂くことになりました。

ご厚志に感謝いたします。



本館での消火器点検

第二分団（沢海）からは六名の団員が参加して、まず田村顯宏団長より「文化財の火災発生時には我々が主力になり、迅速かつ正確な消火にあたってもらいたい」と訓示。その後、放水水槽や消火栓を利用した放水訓練、次いで本館や大呂菴などの消火器等の点検を行いました。

また、職員も参加したの消火器による消火訓練も行われました。

村では、このたび小杉コミュニティセンター前の掲示板老朽化に伴い、取り替え工事をおこないましたので、広くご活用ください。

